

Aコース 起承転結バージョン 例①

起

ぼくは、自然と人間がうまく共存していくためには、人間が「自然を守ろう」ということに対して強い意識を持つことが大切だと考える。なぜなら意識を持たなければ行動にも移らないからだ。

承

例えば、ぼくは東京に住んでいるが、ビルやマンションが立ち並び、車の量も多い。道路はほぼアスファルトだ。その結果、空気を汚したりヒートアイランド現象を引き起こしたりしている。タバコやごみの投げ捨ても多く、川や海もにごっていて汚い。人間が増えすぎて自然よりも便利さを優先させてしまった結果、環境を悪化させたということだと思う。

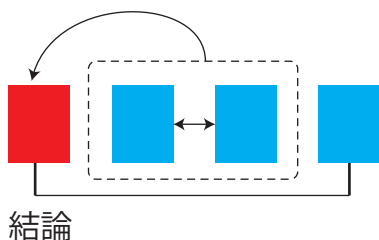
転

しかし最近では、公園やビルの屋上などに木を植えたり、学校でも周辺のクリーン活動などを行ったり、エコカーや省エネ家電などが増え、少しずつできることから環境配慮していく活動も目立つようになってきた。東京湾や隅田川も、ほんの少しずつではあるがきれいになってきているらしい。これらは意識を行動に移した結果だと思う。

結

このように、私たちの自然を守ろうという意識がつながっていき、行動に移すことではじめて、自然が残るものだと考える。だから僕は、**自然を守ろうと強く一人一人が意識し、小さなことから行動していくことが大切だ**と考える。

↑結論（赤字）



起と結が完全にイコールの文例です。
承に対して、逆説である転を述べることで
いずれも結論に結んでいます。